

TEACHERS' NOW

懐かしの恩師は、今

在学中にお世話になった恩師の
近況をお伝えする企画です。

愛と非暴力の
崇高さを訴えた
キング牧師、
今も精力的に
研究を続けて
います。



外国語学部
梶原 壽 名誉教授
神学博士
名古屋学院大学 名誉教授

平成15年に定年退職されるまで、名古屋学院
大学で35年の長きにわたって教鞭を執られ、要職
も歴任された梶原壽名誉教授。梶原名誉教授の
近況をお聞きするとともに、同窓生へのメッセージ
をいただきました。

—宗教学が「専門と伺いましたが、主要な研究
テーマを教えてくださいませんか。

そのことを語るには、まず私の略歴を簡単に
説明しないと分かりづらいと思います。私は
1966年に東京神学大学院の神学研究
科でキリスト神学の中でもドイツ系神学を中
心に専攻し、神学博士号を取りました。そして
2年後の1968年4月に名古屋学院大学経
済学部講師・宗教主任として赴任して来る訳
です。そして、新入生に宗教学を教える際に選んだ
テキストは、アメリカのマティン・ルーサー・キング
牧師著作の「自由への大いなる歩み」でした。4月
の第2週から講義をはじめることになっていたん
ですが、その第1週にキング牧師が暗殺されたとい
うニュースがアメリカから飛び込み、非常に驚い

た。愛の精神と非暴力を訴えて社会を改革しよ
うとしたキング牧師が、暴力によって倒される不
条理。キリスト教国と信じていたアメリカで起こっ
たこの出来事をきっかけに、「キリスト教とはい
ったい何か」という根源的なことを問われたよう
な気がしました。そこから私の研究テーマは「キン
グ牧師を中心としたキリスト教研究」に方向転
換した訳です。

私の講義を受けた諸君は、キング牧師の話はか
り聞いたなど記憶されていると思います。キング
牧師を研究する背景には、このような時代背景
があったのですね。

—今でもキング牧師の研究は続けられています
か。

もちろんです。名古屋学院大学に在籍中の平
成7年に創設した「日本M・L・キング研究会」
の幹事として、全国的に活動を行っています。また、
通信が発達したインターネット時代のおかげか、
ネット検索で私の著作や論文を探して読んでくれ
る若者がいる訳です。いろんなところにキング牧

師を研究したいという人々がいて、そういう方が
よく訪ねて来ます。その際は助言をしたり、指導
をさせていただいています。私にとってキング牧師
研究は、真正正銘のライフワークですね。

キング牧師の説教の特徴は、キリスト教の教え、
聖書の教えを教会の中だけに留めず、社会の問
題・世界の問題と絡めて広く展開したところだ
です。これが非暴力の精神と結びついて世界に大き
な影響を与えているのです。まさに現代は暴力の
時代ですから、キング牧師が説く非暴力の世界を
どうやって構築していくかという一番大きなテー
マを私たちに与えてくれています。

—非暴力といえば、インドのガンジーを想起しま
すね。

キング牧師は、大学生の時からガンジーの著作
を読んで非常に大きな影響を受けていた方です
から、その指摘はわかります。キング牧師とガンジ
ーは切り離すことができません。ガンジーは宗教
的にはヒンズー教の教えから出発していますが、
2人の間には宗教は違えど目指すところは同じ
「世界の「市民」という点で全く共通しています。
より良い世界を築くために、宗教の違いで争う
必要性は全くありません。宗教のマイナスポ
イントをあえて言うならば、宗教の違いが人間の生き方を
分けてしまうということでしょうか。しかし、偉
大な人間は人種や宗教の違いを乗り越えて分か
りあえる訳です。キング牧師から見たガンジーは
「真のクリスチャン」といつてもいいし、またガンジ
ーの立場から見たキング牧師は「真のヒンズー教徒」
ともいえます。これからの世界はそうであるべき、
そうでないといけないと思えますね。例えていうと
「アプローチの仕方は違っても、目標とするゴールは
みんな一緒」ということでしょうか。

キング牧師が人類に残した偉大な貢献の一つ
は、報復精神を乗り越えたことです。人種差別感
情が激しかった当時、「恨みからは何も良いこと
は出てこない」「報復からは悪の連鎖しか生まれ
ない」と訴え、報復から赦しへと人々を導いた。キ

リスト教の救済の精神を徹底して求めた訳です。
それが今も人々に大きな影響を与える由縁では
ないでしょうか。その一番大きな歴史的成果が、
アメリカ合衆国にオバマ大統領が誕生したとい
うことです。オバマ大統領のスピーチを読むと、必ず
キング牧師の考えを踏まえていますし、これも至
極当然のことといえるでしょうね。

—では、最近の「活動内容等をお聞かせください。
いろいろありますが、2010年春の叙勲で、
教育研究功労で「瑞宝中綬章」を受章したこと
が大きなニュースといえます。これは一つのことを
集中して深く探究していけば、必ず多くの広が
りが出てきて、人々から感謝される道が拓かれる
という証かもしれないと私自身は考えています。

また、名古屋学院大学の留学生別科にて今年
後期の「日本の宗教」という科目を担当すること
になりました。同窓生の皆さんが名古屋キャンパス
に来られた際に、顔を会わせる機会もあるかもし
れません。その時は気軽に声をかけてください。

そしてキング牧師研究に関していえば、今一冊
の本を翻訳しており、来年あたりに日本で出版で
きるようにしたいと思っております。タイトルは
『説教者キング ―アメリカを動かした言葉―』
(リチャード・リッシャー著)です。そのために今年
の秋に渡米し、著者と会っている話し合っている
予定です。これからさらにキング牧師研究の新しい
方向を見出したいと願っています。今年で78
歳になりましたが、生涯現役で頑張り抜きたいで
すね。

—最後に、同窓生の皆さんへ一言お願いします。

同窓生の皆さんには、是非とも自分が学んだ
名古屋学院大学に誇りを持ってほしいと思います。
人間は誇りを持たないと前進していく意欲が生
まれて来ません。本学には素晴らしい先生方が
たくさんいらっしゃるし、良い施設もいっぱいあるん
です。誇りを持って自分の人生を頑張っていた
だきたい、この一言に尽きます。